**湖心亭看雪 張岱**

　　崇禎五年十二月，余住西湖。大雪三日，

 (大雪：下大雪，名詞作動詞) (詞類活用)

湖中人鳥聲俱絕。是日更定矣，余拏一小舟，

(是：這) (一詞多義)

(更：音「耕」，古時晚間的計時單位) (一字多音、一詞多義)

擁毳衣爐火，獨往湖心亭看雪。霧淞沆碭，

天與雲與山與水，上下一白，湖上影子，惟長堤一痕、

(一：全都，數詞作副詞) (詞類活用)

(痕：本指「痕跡」，名詞作量詞) (詞類活用)

湖心亭一點，與余舟一芥、舟中人兩三粒而已。到亭上，

(芥：本指「微小的事物」，名詞作量詞) (詞類活用)

有兩人鋪氈對坐，一童子燒酒，爐正沸。見余大喜，

曰：「湖中焉得更有此人！」拉余同飲。

余強飲三大白而別，問其姓氏，是金陵人客此。

(強：音「襁」，勉強) (一字多音、一詞多義)

(白：敬酒用的杯子) (一詞多義)

(客：作客，名詞作動詞) (詞類活用)

及下船，舟子喃喃曰﹕

(及：到了) (一詞多義)

「莫說相公痴，更有痴似相公者。 」

 (更有似相公痴者) (倒裝句)